

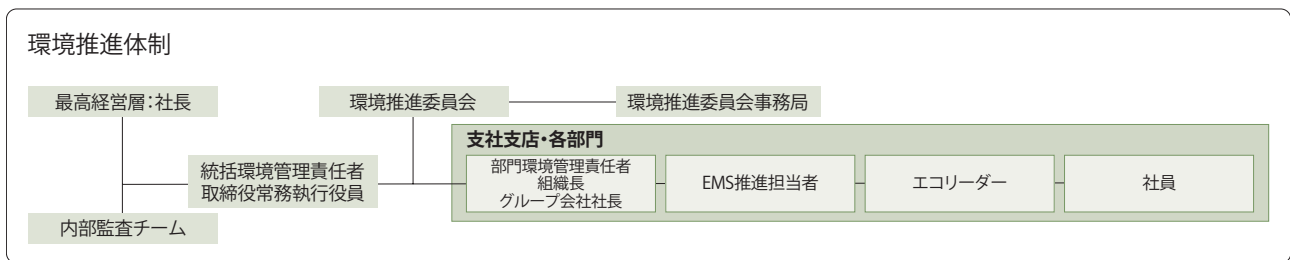


環境マネジメントシステム

会社全体としての取り組みに加え、支社支店や各部門においても、EMS（環境マネジメントシステム）推進担当者やエコリーダーを中心とした主体的・積極的な取り組みを展開しています。

環境推進体制と役割

日本ユニシスグループ全体の統括環境管理責任者のもと、組織長またはグループ会社社長がそれぞれの部門／会社の環境管理責任者に就くとともに、各部門においてはEMS推進担当者およびエコリーダーが中心となって、日々の活動を推進しています。また、全体推進組織として日本ユニシス環境推進委員会と事務局を設置しています。



V OICE 北海道地区 環境推進担当者から

地域の環境改善を積極的に推進

日本ユニシス北海道支店とUSOL北海道は、昨年度新たな試みとして全員を対象とした「エコ・テスト」を実施しました。これは、エコに関する取り組みについて回答するもので、回答結果からCO₂削減量が表示されるようになっており、社員全体の意識を高めるうえでとても役立ちました。

また、日本ユニシス札幌テクノセンターがある札幌テクノパークの「テクノパーク協議会」環境委員会委員長に当社北海道支店長が就任し、この委員会を通して地域の環境改善に向けた取り組みを積極的に推進しています。

2007年、札幌市営バスの停留所に完成した「バスベイ

(バス退避スペース)はその一例で、冬季積雪時の課題であったテクノパーク内の交通渋滞や、それにとまなう排気ガス排出を解消すべく、2年越しで札幌市に現状を訴え、改良を申し入れてきたことが認められ、設置に結びついたものです。



USOL北海道 エコリーダー 小池 裕子
北海道支店・USOL北海道 EMS推進担当者 伊東 充
北海道支店 エコリーダー 温山 睦子

V OICE ユニアデックス関西支店 環境推進担当者から

環境にも人にも優しい活動をめざして

昨年度よりEMS推進担当者に任命されエコ活動に取り組むことになりましたが、活動を推進していくなかで、漠然と「実際のところ“エコ”って何やろう?」との疑問を抱くようになり、メンバー同士の会話にそうした話題がのぼったことがありましたが、人によって認識はまちまちでした。

そうした状況のなかで、東京商工会議所主催の検定として「エコ検定」という試験があることを知り、エコリーダーのみならずと相談のうえ、6名の有志を募り受験にチャレンジしました。

試験まで、約3か月しかなく、試験対策も大変でしたが、結果は「全員合格」。みなで喜びを分かち合うことができました。これからも、この検定を通じて得た経験・知識を活かし、環境に優しい、人に優しい活動をめざしていくつもりです。



ユニアデックス関西支店メンバー